

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表の集計表 2019年1月

ゆうやけ第2子どもクラブ

| | チェック項目 | はい | わからない | いいえ | 備考 |
|------------|--|----|-------|-----|--|
| 施設・設備の整備 | ① 利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか | 12 | 0 | 0 | |
| | ② 指導員の配置人数は適切であるか | 12 | 0 | 0 | 基準以上に職員を手厚く配置している。 |
| | ③ 子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか | 12 | 0 | 0 | |
| | ④ ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらないような対策をとっているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑤ 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか | 12 | 0 | 0 | |
| 活動の全体状況の整備 | ⑥ 倫理綱領の策定、虐待防止委員会の設置、虐待防止責任者の選定をしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑦ 虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか | 12 | 0 | 0 | 虐待防止は、抽象的に押さえるだけでなく、それぞれの子どもをどう理解するかという、具体的な問題につなげていきたい。 |
| | ⑧ 防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑨ 感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑩ 個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑪ 子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑫ 食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑬ 子どもの活動の記録を書いているか | 12 | 0 | 0 | |
| 実践的な力量の向上 | ⑭ 子どものことがわからないと感じたとき、早わかりしようとせず、(どうしてなのか)と、自らに問い続けているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑮ 子どものことがわからないと感じたとき、傍観するのではなく、働きかけて変化をつくりだし、理解しようとしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑯ 子どものことがわからないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか | 11 | 1 | 0 | |
| | ⑰ 子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑱ 子どもの“問題行動”に出会うとき、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか | 11 | 1 | 0 | |
| | ⑲ 子どもの表面的な事ながらを並べるのではなく、働きかけて、肯定的な事実をつくりだし、それを意味づけようとしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ⑳ 気持ちの育ち(人格の形成)には、その子固有のテンポがあるということを押さえて、子どもを理解しようとしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ㉑ 子どもの発達には、ひたすら前進するのではなく、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか | 12 | 0 | 0 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|----|---|---|--------------------------------------|
| | ②② | 学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか | 10 | 2 | 0 | |
| | ②③ | 大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという、自省的な意識をもって、子どもを理解しようとしているか | 8 | 4 | 0 | |
| | ②④ | 遊びや生活をつうじて、子どもの気持ちの育ち(人格の形成)をはかっていることを意識して、子どもに働きかけているか | 11 | 1 | 0 | 遊びの中でこそ、人格的な豊かさをつくりだせることを深めていきたい。 |
| | ②⑤ | 子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ②⑥ | 会議や研修会を定期的に行っていて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ②⑦ | 子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか | 7 | 3 | 2 | |
| 保護者との関係づくり | ②⑧ | 子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ②⑨ | 保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか | 10 | 2 | 0 | |
| | ③⑩ | 保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ③⑪ | 保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか | 12 | 0 | 0 | 親とともに子どものことで喜び合う機会は、職員にとっても励みになる。 |
| | ③⑫ | 保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に対応しているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ③⑬ | 会報などを定期的につけて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ③⑭ | 苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ③⑮ | 保護者が自主的に作る父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか | 12 | 0 | 0 | |
| 関係者・関係機関との連携 | ③⑯ | 親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか | 12 | 0 | 0 | きょうだい同士がつながることで、悩みや願いを伝え合う機会ができる。 |
| | ③⑰ | 障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ③⑱ | 学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ③⑲ | 学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ④① | 学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ④② | 協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ④③ | 学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ④④ | 地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか | 12 | 0 | 0 | |
| | ④⑤ | 障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか | 12 | 0 | 0 | 青年・成人期の余暇支援の問題も含めて、外部関係者との連絡をはかっている。 |